

第7回コンソーシアム人材セミナーin 山口

(平成27年9月4日 15:35~16:30;山口大学メディア講義室)

**森若ジョン幸次郎**氏(株)モリワカ 専務取締役兼 CIO (Chief Innovation Manager)

講演 「シリコンバレーから学び、自分の研究でグローバルイノベーションを起こそう！」

皆さん、こんにちは。山口大学に来たのは4月に次いで、2度目です。

人とのご縁がどれほど大事であるかということを経験系の人にももらえればと話をします。

話に入る前に(マイクを聴衆の一人に向けて)、私の名前のジョンはどこから来たのだと思いますか。<ジョン万次郎ですか?> 素晴らしい、正解です、〇〇君に大きな拍手を。

私がハーバード大のビジネススクールを卒業して日本に戻ってきた飛行機で、青山学院大の小林先生に知り合いになりました。この人がどれくらいの数の会社の社外取締役をやっているか知っていますか?(マイクを次々に聴衆に向けて) 惜しい、違います。実に300社なんですね。選択肢を狭めているのは実は自分だということに気づいてください。私は7社でCMOをやっている。自分で勝手にコミットすればよいんですよ。フェイスブックでのいろいろな人とのつながりも契機です。

私は頻りにシリコンバレーに行っているが、(学長にマイクを向けて) ホテルの宿泊費はどの位かご存知ですか? 2つ星のモーテルで1泊1万5千円。2か月間滞在すると数百万円になるが、それだけの価値があります。この前も2社の役員になって帰ってきました。コネクションをどうつくるかが大事で、そのためには自分に何が出来て、何が出来ないかがわからないといけません。私は就職試験を受けて就職したことは一度もない。お茶を一緒に飲んだり、食事をしたりして、私とその会社にとって必要を思わせればよいのです。自分がいま勉強していること、やっていることを誇らしく思い、情熱をもって話せることが一番大事なのです。

今、日本はGDPで世界第3位に下がったことは皆さん知っている。では、一人当たりGDPはどのくらいの順位でしょう。(マイクを向けて) 違います。君は? はい、一人当たり440万円。これは世界23位なんですよ。人口が多いので国としては3位でも、赤ちゃんから老人までいれた一人当たりはずいぶん下ですね。どうしたらよいでしょう、どういう努力をすべきでしょう。(マイクを向けて歩いて) 新しいことをする? だんだん正解に近づいてきた。イノベーションですよ、皆さん!

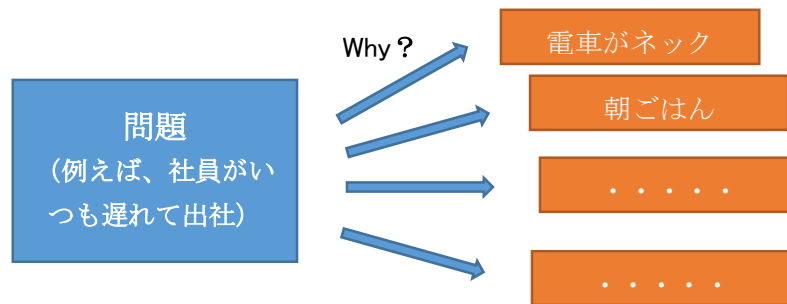
長時間労働は無駄、分からないことがあれば人に聞けばよい。僕ら英語ができるはず。英語に自信がある人は手を挙げて。あれ~? 留学生センターの人もいるんでしょう? この講演は今度から英語でやりましょう。

新しいこと、イノベーションをやりましょう。ドクターの人手を挙げて、何をしていますか? <医療系の画像処理です。>それは何のため、どういう問題を解決するの? <血管疾病の診断や予防のためです。>それはよいことだ。

四年生は何をしている? <化学です。>何に活かすのだろうか? 世の中の問題を解決するということに投資家は一番注目する。二番煎じではダメ。新しい会社を作って一気にする。アメリカで成功した人を日本に連れてきて、アドバイスする会社をつくる。

ホップランさんという人、1か月前にシリコンバレーで初めてあった人で、日本に来てDNAシーケンサーが有望だと英語でプレゼンしました。30億円の資本を日本で調達した。何をやったら問題解決になるかを突き詰めて考えた結果がDNAシーケンサーだったのです。

シリコンバレーは多くの大学から来た人が作っている。ここで、問題を解決する手法、Root Cause Analysis（根本原因解決）を教えましょう。私はこれを紙に書いて分析している。（板書）



一つずつ理由をつぶしていく。そうすると、本当の訳が分かってくる。

悩んでいることがあれば、どんどん列挙していく。そうすることで原因がわかり、問題が解決できる。

私の人生の転機は19歳の時。オーストラリアに行くことになった。なぜ、オーストラリアかというと、父親がたまたま飲食店で隣り合わせた人に話をしたら、その人がオーストラリアから来た大学教員だったという縁。自分は20校の大学入試にことごとく失敗という、集中できない子供だった。3歳ころに、母親が作ってくれた弁当がとってもおいしかったので、近所で箱をもらってきて詰めて、売りに行って、30分足らずで売り切った。それが私がマーケティングに自信を持った契機です。

シリコンバレーに3年半前に初めて訪れたときは何という田舎だと思った。アンズ・ウズマン氏の本「世界の投資家は日本企業の何を見ているのか？」という本に出合った。ウズマンさんにありがとうと言いにシリコンバレーに行った。彼はトウキョウから来たのは柳原氏とジョンだけだと言ってくれた。それが縁で親しくしてもらっている。

シリコンバレーを形成しているのはだれか知っていますか？（マイクを向けて）確かにアメリカ人だが、ではそのアメリカ人はどこから来た？<中国とインド。>その通り、九工大の〇〇先生の息子さん？先生にもお世話になっている。ここで会えるなんて奇遇だ。中国人とインド人合せて60%がシリコンバレーの構成員。これを許しているのがユダヤ人であり、使えるものは何人であろうと使う。シリコンバレーには世界に名の通った会社がある。これと取引をしている多数の新興企業があり、イノベーションをしている。ソニー、パナソニック、シャープ、死に体だ。優秀な人材を活かせてない。新しいことに向かうということを日本で根付かせたい。英語は完ぺきでなくても一生懸命に聞こうとすることが肝心です。Change the world の精神で。

田舎だけでも世界中から人が集まるシリコンバレーだが、そこにはあるものがあつた。何だろう。

（マイクを向けて）そう、最初はゴールドラッシュだった。次は？大学が出来たんです。スタンフォード大学が。山口県全体の発展には世界中からトップを山口大学に集めることです。学長さん、お願いします。

好きなことが仕事ならこれほど楽しいことはない。人が作ったことのないものを作る、自分しかできないことをやるのが僕の楽しみ。文系と理系の壁をぶっ潰すのも必要。クイーンズランド大学に潜り込んで文系理系関係なく面白そうな講義を聴いていました。山口大ではどうですか？<

学長がその気なら出来るかも。>学長がトップダウンなんてもう古い。学長でなくても皆が決めるという新しいカルチャーを育てよう。学生が2つ以上の専門を学ぶ。オレはこれを受けさせてくれという。「ルールは破るためにある」ということを自分は父親から学んだ。もう一つ学んだことは「ありがとう。すみません」、これだけだ。たとえ明日に死んでも満足できること、これに尽きる。一人一人が本当の学びをすればいつでも死ぬ。松陰を尊敬はしているが、僕らの方が世界を知っているだけスゴイ。

学ぶのはシリコンバレーだけではない。世界で一番幸せな国はどこ？（マイクを向けて）<ブータン。>うーん、精神面だけ。答えはデンマーク。一人の子供を育てるのにいくらかかる？<5千万円。>教育費ゼロ、医療費ゼロがデンマーク。ハイテクノロジーだけのイノベーションには反対だ。医療でも、ローテクでも問題を解決するものすべて。

福岡のある障害者福祉施設の12人の役員の中に、障害者は何人いるか知っていますか。4人です。国籍や障害など関係ない。

日本の社長の平均年齢は？今度は手を挙げてもらいましょう。20~25歳？25~30歳？・・・はい、正解は59歳余。ではシリコンバレーの社長は？・・・正解は29歳余！

大学発のベンチャーをやりたい。世の中の問題を徹底的に洗い出して、解決策を見出して、大学発弁長を立ち上げよう！次には何が来るのか？わからなければ外国人を呼んできて聞いてもよい。ものづくりのカルチャーにいろんな国際人を集める。Yes だけでは何にも生まれない。自分と違う人、会話しにくい人間と付き合うこと、反逆児こそが世の中を変える。そういう受け皿に山口大がなれば面白い。いろんな人が集まり、リーダーシップ教育をし、アントレプレナー教育をする。生きた教育だ。社会で活躍していた人に教を乞う。社会からもう一度学びたい人が集まればよい。エグゼクティブになりたい、英語で教育をする。こうして大学が社会問題を解決する場となる。

シリコンバレーは80kmの土地。ここに毎年8000社が生まれ、半分以上が1年でなくなるが、また戻ってくる会社もある。我々と同じ人間がシリコンバレーをつくっている。一流会社に入るのがカッコよいのではない、一流企業をつくるほうがもっとカッコよい。

### State of mind

何事も自分の気持ちで変わる。稲森さんの言葉でいうと、「公明正大」。この気持ちが皆を結集させ、維新が起こる。21世紀、山口から平成維新で、医療、教育、芸術、宇宙のイノベーションを起こして人々の心を豊かにしよう。

### Innovations for a healthier life

人々をより健やかな状態にしよう。医工連携でつくっていきこう。志ひとつで変わっていける。違う人と切磋琢磨しよう。

皆さん、UBERで聞いたことがありますか？これはシリコンバレーで成功した一種の「タクシー」システム。空いている車をネットで呼び出して乗せてもらう。私のよく利用している。しかし我が国では法規制があり、とん挫している。

イノベーションを起こすにはチーム力が必要。自分とは異なる者を含めて議論すること。その中で社会の問題の解決策を考える。私利私欲を捨て、公明正大な精神で。今いる環境で最高のチームを作れなければ、どこに行ってもダメ。「就いた仕事が天職」これは生涯一すし職人を自負するジロウさんの言葉。これを若い皆さんにあげて私の講演を閉じます。